

K. H. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 留学決定から出発までの準備期間

語学勉強としては、TOEFL iBT の単語を引き続きやったり、アメリカの歴史や文化などは再度勉強しました。正規留学のみだったので、留学先で単語や文法を勉強する時間はなかったののでやっておいて良かったです。

ビザ申請は、必要な書類を集めて大阪に面接に行きました。ちゃんと資料が揃っていれば、問題はないはずです。ネットを調べれば、やり方がのっているので調べてください。

② 現地到着後

事前に到着日時を伝えておくと、留学生アドバイザーの方が大きい車で迎えに来くれました。オリエンテーションでは、MBC の設備やダウンタウンの案内をしてくれました。

③ 語学研修期間

語学学校には行かずに、2セメスター正規留学をしました。

④ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

大学の図書館は平日と日曜日は 24:00 まで、金曜日と土曜日は 18:00 まで基本的に空いていて、勉強しやすい場所でした。スペンサーセンターの上階に Wanger と呼ばれるパソコンルームがあり、そこは 24 時間大体空いていたのでペーパーが終わらない時にお世話になることもよくありました。春セメスターに住んでいたスペンサーレジデンスホールの 1 階は広いラウンジがあり、たまにみんなでご飯を作って食べたり、夜遅くまで勉強するにはとてもいい場所でした。（時々、みんなはしゃいでいてうるさいこともありましたが。）

また、キャンパスの建物の中では Wi-Fi がとんでいるので、パソコンや iPhone、iPodTouch でインターネットをつなぐことができますよ！たまに、あんまり Wi-Fi が届きにくい部屋も寮ではありますが。

トレーニングルームはよく通っていましたが！メインの場所からちょっと離れていますが、こっちの食事は日本に比べるとヘビーなのでたまに運動したいときに活用していました。

◆履修科目

国際交流センターの方に取ろうと思っている科目をメールで伝え、科目読み替え担当の先生に連絡をとっていただき、その結果によって取る授業を変えることもありました。以下は私がとった授業をいくつか紹介したものです。

秋学期

・INT130 American Culture

留学生用の授業で絶対とらないといけない訳ではありませんでした。多くの留学生がと

っていました。週に二回あって、頻繁にゲストスピーカーが来てくれてアメリカの女性、文化、行事、教育を学びました。週に一回くらい 1～2 枚程度のレポートがありました。最後には、プレゼンテーションもありました。でも、次からは週に一回になり先生も変わるので内容も多少変わるかもしれません。

・ **ED325 Classroom and Behavior Management**

先生になったときに、どうやって生徒をまとめるかなどを考える授業でした。テストはありませんでしたが、大きいレポートと何回かプレゼンテーションがありました。Dr. Frank は現役で小学校で働いている先生で、色んな資料をくださったり引き出しの多い先生でも楽しいじゅぎょうでした。

・ **THEA121 Acting I**

演技の基礎をはじめに習い、後半はペアの人と 10 分ほどのワンシーンを演じるというものでした。全部セリフを覚えるのはきつかったですが、やり終わったあとはすごく達成感がありました。

春学期

・ **COMM280 Intercultural Communication**

色んな文化がある中での Communication を学ぶというものでした。宗教、国、個人、性別にわけて学び、おもしろい題材でした。テストは二回ありましたが、オンラインテストなので教科書を見ながらできたのでプレッシャーは少なかったです。

・ **CEL245 Motor Learning**

はじめの方は、細胞や神経、筋肉の名前などがてんこ盛りで予習と復習が大変な授業でした。後半の方はモチベーションの話なんかで難しかったけど楽しかったです。リサーチペーパーはすごくしんどかったです。テストは中間、期末の二回、プレゼンは実際にあるスポーツの一部分を、授業で習ったことを活かしてみんなに教えるというものでした。

・ **PHIL235 Ethics, Community, and Leadership**

哲学で出てくるような偉人の考えを理解して、リーダーシップをとるときに役立つことを学ぶというものでした。途中、戦争のジレンマなどが出てき、法が絡んできたので難しかったです、ペアでのプレゼン 3 回とペーパーも計 6 回提出でけっこうハードな授業でした。

メイターム

メイタームは、春学期の授業を MBC でとっている人なら追加の寮費、食費、授業料の追加料金は払わずにとれるのでぜひとってください！ 3 週間の集中講義みたいなもので、1～2 つほど授業をとります。

・ **ED110 Practicum**

日本でいう教育実習とすこし似たもので一日中、中学校と高校に行っていました。アメリカに移住してきた ESL の生徒で、生徒の人数は少なかったです。先生の授業を見学させて

いただき、色んなことを教えていただいてすごく有意義な時間をすごせました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブは、インターナショナルクラブコスモスとハイキングクラブに所属していました。コスモスでは、ハロウィーンパーティやちょっとしたパーティをたまにして楽しかったです。ハイキングクラブでは、バージニアにある美しい山でハイキングし、体を動かすのが好きな私はとても楽しんでいました。バージニアはきれいなところがいっぱいあることも知れて良かったです。

MBCから徒歩20分くらいの小学校で2nd gradeの生徒の教室でボランティアもしていました。子どもたちが本当にかわいくて最後の日はとても悲しかったです。スペンサーセンター（国際交流センターにあたるもの）では色んなボランティアを紹介しているので興味がある人はぜひ行ってください。色んな方と出会えてすごくいい経験になりますよ！

⑥ 現地での住まいについて

寮は始め、Memorial Residence Hall という2Fにはほぼ留学生しかいないという寮に住んでいました。途中、もっと英語を使いたいと思い、Spencer Residence Hall という違う寮に移りました。次の留学生の方は、Spencer Residence Hall に住むことになるらしいです。

1回生が多く住む寮でアメリカ人の友達もできやすいと思います。キャンパス内に寮は全部あり、授業がよくある建物にも5分以内、図書館5分以内、食堂3分以内で、本当に運動不足になってしまうくらい近くに全部あります。

また、覚えておいてほしいことはどうしてもルームメイトや近所に住んでいる人と相性があわない場合は寮や寮内で部屋や階が変わることも、空きがあれば可能なのであまりストレスは溜めないようにしてくださいね！

⑦ 長期休暇の過ごし方

冬休みは寮が閉まります。3週間ほどあり、友だちと NY、Portland、Seattle、カナダの Vancouver、Toronto と色んなところに行けて本当に楽しかったです！飛行機は早い目に取ると割と安く取れます。

10日間ほどの春休み中、寮は空いていましたが、大体の生徒は家に帰ったり旅行にいました。私はどこにも行かず、ボランティアに行ったり、ルームメイトと料理を作ったり、ほかの留学生と大雪が降った日にかまくらを作ったりして楽しんでいました。

⑧ 留学期間中の就職活動の取り組み

教員採用試験を受ける決意をしていたので就職活動はしませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

色んな国の友達ができただけです。今後、海外に行くときに連絡したら会えるような友達

ができたことは本当に素晴らしいことだと思います。これはどの思い出にも変えられないです！

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

はじめの方は、授業の予習、ペーパーなどが大変でした。日が経つにつれて自分も発言できるようになってきたりすると、成長を感じることができてうれしく感じることもできましたが、その段階にいくまでは我慢して頑張ることが必要でした。また、はじめに住んでいた寮は（Memorial Residence Hall）はいい寮でしたが、古いため下に住んでいる人の騒音が夜遅くまですごくて、いつも嫌な思いをしていました。最終的には、寮を移動することができたのでよかったのですが、はじめは静かにしてほしいと言いに行くのも怖かったです。もし何かあれば、セキュリティの人や留学生アドバイザーに相談してください！RA（Residence Assistant と呼ばれる寮長みたいな人）が意外と頼りなくてあまり助けてくれなかったので、問題解決にかなり時間がかかりました。日本に比べて、問題解決のスピードは遅いかもしれない、、ことは覚悟した方がいいかもしれません。日本人のような責任感はない人が全体的に多いかも。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日々のニュースで、銃の事件がでてきたりしたことは驚きました。また、ワシントンDCで韓国人の友達がカバンを盗られたこともあり、いかに平和な国に住んでいるか気づかされました。だから、できるだけ気をつけてください！！日本と違うので何が起るかわからないといつも思っておいたほうがいいです！

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

小さい大学で、授業も少人数が多いので先生や友だちと近くなりやすい点はすごく良かったです。しかし、MBC はかなり田舎にあり、車がないと移動がとても難しく都会が好きな子には向かないかもしれません。でも勉強にはとても良い場所でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは絶対あったほうがいいです！

パソコンルームや図書館でも使えますが、やっぱり自分のものがある方が空いてないときにでも使えるので。

友だちや家族と連絡をとる際に、iPhone や iPod touch、その他タブレットなどを持っていると寮を含むキャンパス内では Wi-Fi がとんでいるのでとても役立ちましたよ！

洗濯ネット（アメリカの洗濯機はあらい）、日本の文房具大体一式（日本のものは圧倒的に質が高い！！）、浴衣（色んなイベントに参加し5回以上は1年で着ました。）、薬（やはりなれたものの方がいい！！アメリカの錠剤は大きい。）、クレジットカード2枚以上（何が

あるかわからないので2枚以上はいります。チップ入のもので、圧縮袋（帰国する際に、冬物の服を入れるのに役立ちました。）

は自分が持って行って良かったと思うものです。

③ 語学力の向上等、留学の成果

圧倒的に会話力が伸びました！色々な訛りがあっても大体はわかるようになったし、自分の言いたいことは言えるようになりました。今からどう維持していくかが課題です。アカデミックレベルではまだまだ完璧には遠いですが、それでもやればできるということは実感できました。語学だけでなく、色々な文化を学べたことが財産です。視野が広がりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

チャンスがあるなら、多くの人に絶対留学してほしいです！日本で学べることももちろんたくさんありますが、ほかの国に出て学べることは本当にいっぱいあり、刺激的です。TOEFL はあくまでも通過点なのでここでつまずいては、どうせ留学先で苦しみます。それなら日本でいっぱい勉強してから自信をもって留学する方がいいと思うので、TOEFL を今やっている人は本当に頑張ってください！！



ボランティアをさせてもらっていた Bessie Weller Elementary の 2nd grade の子どもたちと。日本のことをはじめは全然知らなかったのに、とても興味を示してくれて、好奇心旺盛で素直なかわいい子達でした。

2012 年度（秋学期・1年）
Mary Baldwin College



ダンスの授業のメンバーで、ダンスフェスティバルのあとに撮ったものです。色々な種類のダンスを担当している、Miss Irene Sarnelle の授業は本当におすすめです！日本文化も大好きな先生で授業外でもいつも良くして下さいました。